



は い く 俳句をよんでみよう!



しな の まいにちしんぶん しんしゅんはいく さくひん ぼしゅう えら はいく
信濃毎日新聞は、「2025年新春俳句コンクール」の作品を募集しています。選ばれた俳句は、

らいねん しょうがつ しんぶん しょうかい しょうがくせい ぶ えら はいじん にしむらきりん なに
来年のお正月の新聞で紹介します。小学生の部を選ぶのは、俳人の西村麒麟さんです。「何

をよんでもいいし、はずかしくないよ。楽しく作ってね」と、みなさんの応募を待っています。

俳句って？

5・7・5の17音で文を作ります。季節を表す言葉(季語)を1つ入れるのがルールです。

ゆうめい こばやし いっさ はいく いまき かお なら つばめ かな はる
有名な小林一茶さんの俳句です。今来たと顔を並べるつばめかな 〈春〉

きりん はいく たいやき や いそが ぶゆ
麒麟さんの俳句です。鯛焼をかたかた焼いて忙しき 〈冬〉

ぜんかいさいゆうしゅう わかつきしょう いつき はいく
前回最優秀の若槻小4年(当時)高野樹さんの俳句です。

あき
秋の海夜空のような青色だ 〈秋〉

何をよむの？

次の①か②、または①と②で、合わせてひとり3句以内。

① 春夏秋冬の景色、心に残ったできごと、発見を自由によんでみましょう。

② 「林檎(りんご)」「秋の季語」を使った句。身近なくだもの、林檎(りんご)とじっくり向き合ってみましょう。

おく かり 送り方

紙は自由。しめ切りは令和6年10月23日(水)。

がっこうめい がくねん じぶん なまえ じぶん じゅうしょ れんらく でんわばんごう わす
学校名、学年、自分の名前(よみがなも)、自分の住所、連絡できる電話番号も忘れずに
書いてください。選ばれた人には賞状と、図書カードや記念品を贈ります。

ほかのコンクールに応募した作品は送らないでくださいね。作品はお返ししません。

おく さき 送り先

〒380-8546 ながのしみなみがたまち しな の まいにちしんぶんぶんかぶ しんしゅんはいく かかり
長野市南 県 町 657 信濃毎日新聞文化部「新春俳句コンクール」係
メール kodomo-haiku@shinmai.co.jp でも送れます。問い合わせは ☎026・236・3165